



POINT 01

逃走・飛び出し

しっかり囲って命を守る。高さやすき間にも注意！

犬は隙があれば外に広がる世界に出て行ってしまいがち。しかし、「動物愛護法」でペットの飼い主は逃走を防ぐ義務があります。愛犬の命を守るためにも逃走・飛び出しをさせないエクステリアの工夫が必要です。

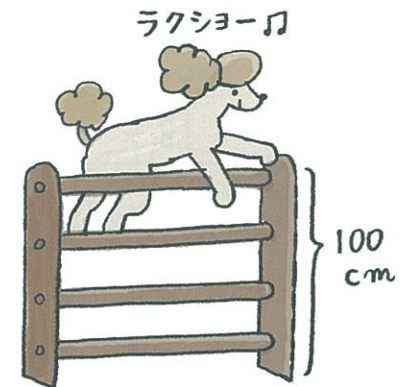
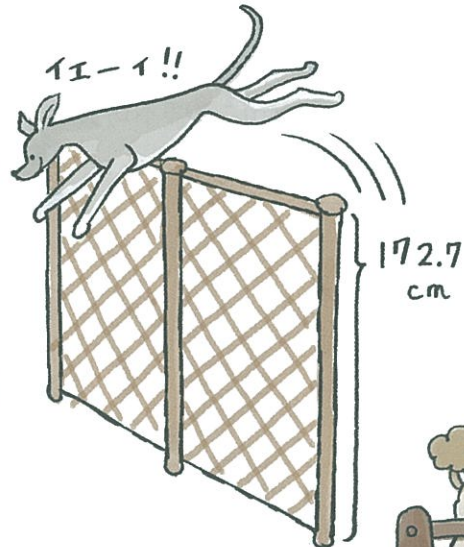
■ フェンスを見直す

・高さ

犬の大きさやジャンプ力を考慮して飛び越えられないようにフェンスの高さを設定しましょう。小型犬のトイプードルでもハイジャンプ競技で100cmを超える記録があるので油断は禁物。余裕のある高さにおきたいものです。

・形状

犬がフェンスに足をかけた際、爪がフェンスに引っかかって外れなくなったり、ケガをする危険性があります。また、犬によってはフェンスをよじ登って外に出てしまうこともあるので、足をかけられない形状を選びたいもの。穴掘りが得意な犬はフェンス下に穴を掘り、そのすき間から脱走することもあるので、基礎部分にも注意が必要です。



犬はあなどれないジャンプ力があります。愛犬のジャンプ力を知って、それにふさわしい高さのフェンスを設置しましょう。

■ 門扉をつけよう

・種類

「開き門扉」は犬が取っ手に手をかけて解錠する恐れがあるため、「引戸門扉」を使用するのがベター。また、犬は押す動作は得意でも、横に引く動作は前足だけでは難しいため、「引戸門扉」のほうが逃走防止には適しています。

・開閉の向き

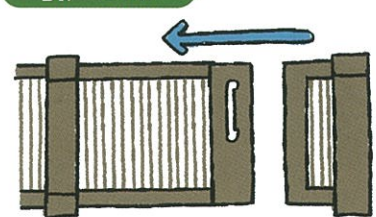
犬は門扉を押して扉を開けることがあるため、開き門扉の場合は内開きに施工を。門扉本体と地面の間から逃走することもあるので、すき間をなくし、さらに穴が掘れないような工夫も必要です。



外開き NG!



引戸 OK!



豆知識

— どうして穴を掘るの？ —

犬が穴掘りをする理由は①巣穴に暮らしていた習性のなごり、②土の中が涼しいと知っていて暑さをしのぎたいため、③食糧を隠しておく習性のなごり、④ストレス・不安の発散、⑤飼い主の気を引くため—など。犬にとっては穴が掘れる環境も必要かもしれませんが、脱走を防ぐために門扉やフェンス付近は穴が掘れないようにしましょう。その代わりに、穴が掘れる遊び場を用意してあげると、他の場所で穴を掘る頻度は減ります。夏の暑さをしのぐために穴を掘ってお腹を冷やし、体温調節も行うので、穴掘り場は日当たりの強い場所を避け、できるだけ涼しい場所にしましょう。

< 穴掘りが得意な犬種 >

ダックスフンド、ウェルシュコーギー、ビーグル、テリア種、ラブラドルレトリバー、ゴールデンレトリバーなど